

小平3・3・8号府中所沢線ってどんな計画？

どこを通るの？

ウラの地図をご覧ください。

青梅街道の変則的な交差点から小川駅方面にかけて、府中街道の幅が広がっていますが、これも3・3・8号線の工事です。そこからまっすぐ府中と所沢をむすぶ道路計画です。

小平市内の五日市街道から青梅街道まで約1.4kmは、府中街道と並行して新しく道路を通す計画になっています。

2本の道路は最小55～60m、最大でも約200mしか離れていません。

(※小平市役所まちづくり課に電話で問い合わせ)

幅は？

最大で36m、
狭いところでも32m。

車道4車線と歩道、植樹帯等を合わせた広い道路です。

こんな数字とくらべてみると

五日市街道から青梅街道までの区間の

府中街道の幅は8～10m。

青梅街道からブリヂストン前までの区間の

府中街道(338号線)の幅は22m。

東八道路の幅は30m。

(※道路の幅には歩道も含まれます)

いつできた計画？

50年近くも前の計画!
今も必要なの？

東京都がこの計画を立てたのは、
昭和37年～41年(1962～66)。

東京都は、小平市内の五日市街道から青梅街道までの約1.4kmは、2006年から10年間のうちに、つまり、2016年までに着手あるいは完成予定としています。(「多摩地域における都市計画道路の整備方針 第三次事業化計画」(平成18年(2006))

どのくらいお金がかかるの？

まだはっきりした数字は出ていません。

同じ府中所沢線の国分寺部分(3・2・8号線)の事業費は、
4車線幅36m長さ2.53kmで540億円。

府中所沢線小平市部分約1.4kmは幅32～36mとされています。国分寺部分の事業費から単純計算すると、事業費は約299億円となりますが、250億円とも言われます。都市部の道路整備では、事業費の7～8割は用地買収の経費です。

どうして作るの？

東京都の「道路の整備効果」にはこう書かれていますが…

- 多摩地域における人やモノの動きの円滑化
- 府中街道をはじめとする周辺道路の渋滞緩和
- 生活道路に進入する通過交通の排除による良好な居住環境の確保
- 地域の防災性や安全性の向上
- 環境施設帯による快適な都市空間の創出

「道路の整備効果」
は検証が必要!

このパンフレットに並べられた必要性の根拠にはとても疑問があります。たとえば、東京都は「多摩地域における人やモノの動きの円滑化」で示された交通量推計の根拠は国のデータであるとしていますが、情報公開請求によって、国には、その説明文書がないことが明らかになりました。

(都道小平3・3・8号線計画を考える会のブログより
<http://338kangaerukai.seesaa.net/article/185029712.html>)